

## コロナ禍は、長期戦・持久戦です！

- 嵐山町のコロナ対応・支援策は、町財源が厳しいため、国の1次補正1億302万円、2次補正1億7611万円、匿名の寄付(1000万円・感謝です)が財源です。
- 嵐山町は財政調整基金(普通貯金)が少ない。9308万円(一人当たり5223円)。不安です。
- 自然災害時、コロナ禍に人の生活を守るために予算を使う工夫が必要です。



手持ちのお金、  
9308万円  
1世帯11442円  
1人5223円

国・補助金	特定定額給付金 (嵐山町の対応は迅速でした)	17億9030万円	1人10万円給付
	特別定額給付金事務費補助金(郵送費・印刷代・人件費)	1683万9千円	郵送費・印刷費・超過勤務手当・電算機など
	子育て世帯臨時交付金	1850万円	子育て世帯1世帯1万円給付
	事務費	170万円	印刷費・手数料・電算機
寄付金	匿名希望の方 (ありがとうございます)	1000万円	1人親家庭1世帯7万円 次子以降一人2万円
国・1次補正補助金 1億302万円	小中学生1人1台のタブレット購入	8453万5千円	オンライン授業に向けて
	小規模事業者応援給付金	1160万円	持続化給付金の対象外の事業者の方への応援金
	避難所感染防止対策	600万円	災害時の避難所のコロナ感染防止対策費
国・2次補正・1億7611万円	新しい生活様式を踏まえた地域経済への活性化への対応分	1億344万円	9月30日までにどのようなことに使うかの計画を国に提出 ※
	家賃支援・事業継続・雇用維持	7265万円	

※夏休み短縮で、真夏に小中学生が学校で学習します。議会文教厚生委員会では、遠距離通学の子のために、スクールバスやワゴン車の経費、真夏の学校給食費の無償化、学校の清掃等の雑務への支援費を出し、教員の負担を軽くしてほしいと町に要望しています。

※コロナ禍には嵐山町独自の予算は使われていません。一方、聖火リレー(213万円)、嵐山祭り(233万円)、町民スポーツ大会など、予算を組んでいて、取りやめた行事があります。予算を回してほしい。

## 来年度以降は、税収の大幅減少は明らかです。

■ 嵐山町は、税収減を予測して今の政策を<sup>ゼロ</sup>〇から見直してほしい。

■ 今は、嵐山町の人々が安心して出産し、子育てできる生活、自然災害・豪雨・土砂崩れ・地震・熱中症・感染症に耐えるまちづくりを一番に考えたい。駅西口のロータリー広場の建設(10億円)、小中学校統合して新しい学校建設(30億円以上)、はじめに施設建設ありきではなく、もう一度議論しましょう。



渋谷とみこ 埼玉県比企郡嵐山町千手堂 39-46 TEL/FAX 0493-62-7997

HTTP://space.tom-shibuya.com Email [shibuya97@s4.dion.ne.jp](mailto:shibuya97@s4.dion.ne.jp)

